

平成31年2月秋田市議会定例会代表質問者順序

秋 水 会 齊 藤 善 悦

そ う せ い 武 内 伸 文

市 民 ク ラ ブ 安 井 誠 悦

公 明 党 成 沢 淳 子

フロンティア秋田 佐 藤 哲 治

社会・市民連合 長 澤 孝 政

1 市長の政治姿勢について

- (1) 本市の平成時代の歩みと急激に進む人口減少・少子高齢化の中で、いよいよ重くなる県都・中核市としての役割について
- (2) 改定「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対する取り組みと本市の「中枢中核都市」の選定について
- (3) これまで以上に豊富な地域資源を生かした施策の展開が望まれるが、本市における地域資源の認識と有効活用について
- (4) 特色ある地域資源の活用となり移住定住にも効果が期待できる、御所野学院を国際教養大学の附属学校として位置づける取り組みについて
- (5) 超高齢時代におけるエイジフレンドリーシティの取り組みについて

2 平成31年度当初予算等について

- (1) 平成31年度当初予算について
- (2) 移住定住の取り組みと移住希望者への支援強化について
- (3) 新スタジアム整備構想について
 - ア 新スタジアム整備構想策定協議会による最終報告を受けた同スタジアムの今後の整備構想の進め方について
 - イ 秋田県立中央公園運動広場サッカー球技場を再度建設候補地として、調査・検討の対象とすることについて
- (4) 秋田市中小企業振興基本条例に基づいた小規模事業者への支援について
- (5) 「第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」の開催について
- (6) 新天皇即位に伴う改元への対応について
- (7) 本市における消費税率引き上げの影響と対応について
- (8) 郷土への誇りや愛着を深める市制施行130周年事業の実施について
- (9) 本市の斎場における「残骨灰」の処理方法について

- 3 陸上自衛隊新屋演習場への迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備計画について
 - (1) これまでの経緯を踏まえた「イージス・アショア」の配備計画に係る市長の見解について
 - (2) 県とともに防衛省に申し入れる内容について
 - (3) 防衛省による調査結果への対応について
 - (4) 統一地方選挙、参議院議員選挙で一つの大きな選挙のテーマとなり、市民・県民が選択する、そういった意思表示もできるとした市長の真意について

- 4 農業農村振興について
 - (1) 農業生産基盤の整備促進のための強力な支援体制について
 - (2) 市内土地改良区の組織強化と統合整備の支援について
 - (3) 極良食味米の新品種候補「秋系821」に対する取り組みについて

- 5 田園都市構想について
 - (1) 将来の人口減少を視野に入れた政策の推進と田園都市構想の実現について

1 まちづくりについて

(1) 内町エリアについて

ア 快適な公園都市空間の創出について

(ア) 千秋公園の再整備に当たり、民間の発想を取り入れるとしているが、公園整備の枠にとらわれず、中心市街地全体を活性化する観点から進めていくべきと考えるがどうか

(イ) 千秋公園から広小路や仲小路にかけての一带を、広小路の1車線を歩道にしてベンチを設置したり、エリア全体にオープンカフェをふやすなど、皆が滞在したくなるようなエリアとして構築する考えはないか

(ウ) 県都秋田市の顔となる秋田駅西口駅前広場をどのようなイメージで活用していくのか、また、冬期間における活用を考慮し、屋根を設置する考えはないか、さらに、乗降場のシェルターは確実に必要であると考えているがどうか

(エ) にぎわい広場を憩いの場にするとしているが、欧州の広場をイメージしたオープンカフェや、冬季にはスケートリンクを設置するなど、老若男女が集いたくなるような仕掛けをする考えはないか

(オ) お堀の周辺など千秋公園を中心に快適な歩行空間を整備し、大学や企業と連携して健康マイレージ事業を実施するなど、市民に歩行習慣が根づくような取り組みをしていく考えはないか

(カ) 中心市街地内の移動をサポートする観点から、レンタサイクル等の設置や中心市街地循環バスのルート改善などを実施していくべきではないか

(キ) 障がい者や高齢者、外国人など、さまざまな人が分け隔てなく快適に過ごせる環境づくりを進めるため、ユニバーサルデザインに配慮すべきと考えるがどうか

イ 秋田駅の利用者数の向上等について

(ア) コンパクトシティ構想推進の効果を高めていく上では同駅周辺に足を運ぶ人がふえることが必須と考えるが、現在の同駅の利用者数をどう認識しているのか、また、今後、同駅の利用者数をどの程度まで高めることを目標としているのか

(イ) 同駅の利用者をふやす上で、市内各駅における乗り継ぎ環境をどのように改善していくのか

(ウ) 公共交通の全体像は市が主体的に計画を策定し、JR東日本や秋田中央交通株式会社への提案や協議を行っていくべきではないか

ウ 集いたくなる施設機能づくりについて

(ア) 中央図書館明德館の利用者層の拡大を図るため、建てかえや長寿命化を検討する際には、施設の複合化などについてもあわせて検討すべきではないか

(イ) 市民交流サロンの利用者層の拡大を図るため、市民団体などの活動情報の発信や交流・発表機能を強化すべきではないか

エ 中心市街地における芸術文化活動機会について

(ア) 多くの市民が気軽にプロフェッショナルな芸術・文化を体験できるような芸術祭や音楽祭などを開催する考えはないか

(イ) 本市の芸術・文化の将来を担う子供たちが積極的に芸術・文化に触れられる機会を提供する考えはないか

(ウ) 芸術文化ゾーン内の施設整備計画が固まりつつある中、200人から400人規模のホールのニーズの声を多く聞いているが、どのように対応するのか

オ 中心市街地におけるビジネス機会について

(ア) 中心市街地商業集積促進事業の補助要件の拡充から2年が経過するが、その評価及び支援のあり方についてどう考えているのか

(2) 外町エリアについて

ア 観光資源の磨き上げと情報発信について

(ア) 旧大島商会店舗の移築により歴史的建造物の集約化が図られるが、その回遊の仕掛けをどのように考えているのか、また、移築

先においては、民間による商業施設整備が計画されているが、当該事業者の意向は確認しているのか

(イ) 民俗芸能伝承館の来訪者に対し、市内の文化団体と連携した本市の伝統芸能の披露のほか、物販や近隣商店街の紹介など、より幅広いサービスを提供する考えはないか、また、指定管理の検討状況はどうか

(ウ) 小中学校における校外学習の一環として、赤れんが郷土館などの観光施設を積極的に訪問すべきと考えるがどうか

(エ) 秋田商工会議所が実施している寺町観光のプロジェクトと提携し、本市の魅力として同プロジェクトを積極的に情報発信していくべきと考えるがどうか

(オ) 秋田公立美術大学や秋田工業高等専門学校などと連携し、川反地区における旭川沿いの景観を根本から見直す考えはないか

(カ) 外町の魅力を国内外に伝えるため、戦略的に情報発信していくべきではないか

(3) 山王・八橋エリアについて

ア 同エリアの10年後、20年後の姿をどのように描いているのか

イ 新スタジアムの整備について、市は八橋運動公園は適地とはいえないとしているが、健康広場及び第2球技場の代替地の検討は行ったのか、また、10年後、20年後の姿に照らし合わせた判断であると考えているのか

ウ 文化会館については、同エリアの将来像を見越した上で取り壊すこととしているのか、また、壊さない選択肢である民間譲渡を視野に入れ、広く民間に活用案を公募することも必要ではないか

(4) 公共交通について

ア 既存路線の整理だけではなく、10年後、20年後の公共交通のあり方を考える必要があると思うがどうか

イ 本市における将来の公共交通の姿を見据え、秋田駅から臨海十字路までを結ぶBRTなどの利便性の高い交通インフラを導入する考えはないか

ウ 公共交通活性化基金を活用した地域交通の整備については、郊外だけではなく町中においても実施すべきと考えるがどうか、また、その際には、企業と連携し、自動運転やA Iを活用した配車サービスなどの実証実験を行う考えはないか

(5) まちの担い手づくりについて

ア 中・高校生に対し、ふるさとに根づいたキャリア教育を積極的に実施する考えはないか

イ Aターン希望者と、事業承継を含む中小企業とのマッチングを実施する考えはないか

ウ 中小企業が求める人材要件の把握に努めるとともに、外国人労働者の雇用促進も視野に、企業が雇用しやすい環境整備を進める考えはないか

2 イージス・アショアについて

(1) 「地域住民の理解と協力」が得られたかどうかについては、市が判断すべきと考えるが、その判断に当たっては、もっと市が主体的に住民の声を聞くべきではないか

3 分け隔てない社会について

(1) 秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例制定の効果をあまり実感できないとの声があるが、どのように周知し、運用しているのか

(2) 香害で悩んでいる人がいることについて、どう認識しているのか、また、その対応についてはどうか

4 ICTの活用について

(1) ちばレポの検討状況はどうか

1 イーリス・アショアの配備について

- (1) 市長は、日本におけるミサイル防衛についてどのように考えているのか
- (2) 憲法第13条で規定する「幸福追求権」及び第25条で規定する住民の「生存権」と地方自治法第1条の2第2項で規定する「国が本来果たすべき役割」の中で、「国際社会における国家としての存立」との衝突、いわゆる、国の防衛という専管事項に関し、本市は法的に拒むことができると考えているのか
- (3) 現実的解決策として、配備地が決定するまでは、住宅密集地への配備を避け、他の国有地を模索するよう、繰り返し国に対して訴えていく、あるいは配備地が決定した場合には、国に対し完全な安全対策と、将来的に現段階では想定できない損害が発生した際には、補償、撤退などの対策の確約を取りつけることが必要と考えるがどうか

2 行財政運営について

(1) 平成31年度当初予算編成について

- ア 国が策定した地方財政計画との整合性はとれているのか
- イ 本市が直面する課題に対して、予算をどのように配分したのか、また、その成果をどのように見込んでいるのか
- ウ スクラップ・アンド・ビルドについて、事業の拡充ばかりで、事業の見直しは適切に行われているのか、また、どのような事業の見直しを行ったのか

(2) 中枢中核都市の選定を受け、今後の対応をどのように考えているのか、また、地域活性化にどのような影響があると考えているのか

(3) ふるさと納税について、直近の寄附額と市民税控除額との収支はどうか、また、その現状をどのようにとらえているのか

3 観光施策について

- (1) 観光に関する基本理念、基本方針、施策目標などを定めた基本計画を策定するべきと思うがどうか
- (2) eスポーツを本市の交流人口の拡大またはにぎわい創出の起爆剤として役立ててみてはどうか

4 新スタジアムの整備について

- (1) 市長は、3つの検討候補地以外の候補地を考えているのか
- (2) 来年度中に新スタジアムの整備地を決定する考えはないか、また、来年度の決定が困難ということであれば、いつまでに決定すると考えているのか
- (3) ブラウブリッツ秋田、秋田県サッカー協会及び民間企業・団体が、八橋運動公園の第2球技場と健康広場の代替施設として、グラウンドの面数をふやし、クラブハウスを設置するなどの拡張整備をすれば、多くの市民が望む八橋運動公園を新スタジアムの整備地とする考えはないか

5 自殺対策について

- (1) 警察庁が発表した秋田県の自殺者数をどのように分析し、また、どのようにとらえているのか
- (2) 「(仮称)秋田市民の心といのちを守る自殺対策計画」を今後の自殺対策にどのように生かしていくのか、また、「秋田市民の心といのちを守る自殺対策条例」とどのように連携していくのか

6 学校施設長寿命化計画等について

- (1) 同計画の中長期保全計画における平成28年度から平成32年度までの5年間の整備計画の進捗状況はどうか
- (2) 学校施設の長寿命化計画は、経済的かつ効果的に実施されるよう、小・中学校の適正配置を踏まえたものでなければならないと考えるが、その整合性はとれているのか
- (3) 財政制約と必要コストとの乖離を埋めるため、プールの民間施設の

活用または集約、夜間の施設活用、他施設との複合化など、多面的及び新たな発想が必要と考えるが、今後の中長期保全計画における具体的な方策をどう考えているのか

7 仁井田浄水場の更新について

- (1) 現在、発注している基本設計等業務委託の内容とその進捗状況はどうか
- (2) 完成までのスケジュールはどうか
- (3) 最近の相次ぐ台風、大雨、地震などの自然災害を受け、新浄水場の完成が急がれると思うが、工程を前倒しする考えはないか、また、自然災害への対策はどうか
- (4) 水の大切さを市民にアピールするための「水の学習館」について、新浄水場での整備及び活用はどうか

8 消防について

- (1) 火災現場における公務災害の現状並びに職員の安全及び惨事ストレスへの対策はどうか
- (2) 海及び山での事故に対応するため、どのような体制を構築しているのか
- (3) 消防署所の適正な配置のあり方などについて検討を行っているが、検討結果及び今後の進め方はどうか

1 市政運営について

(1) 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

ア 同戦略の進捗管理に客観的視点を取り入れるため、外部有識者を入れたプロジェクトチームを立ち上げるべきと考えるがどうか

イ 秋田市子ども・子育て支援に関するニーズ調査や秋田市しあわせづくり市民意識調査を分析し、高い効果が見込める事業を優先的に実施すべきと考えるがどうか

(2) 移住・定住の促進について

ア これまでの取り組み状況及び移住者・定住者のさらなる増加に向けた新たな施策の実施はどうか

(3) 新スタジアム整備について

ア 新スタジアム整備構想策定協議会報告書の各協議事項に対し、具体的な考え方はいつごろを目途に示すのか、また、さまざまな課題はあるものの八橋運動公園への新スタジアム整備の可能性について、どのように考えているのか

イ 佐竹知事が定例記者会見において、適地との意見が多かった八橋運動公園の駐車場確保策として秋田市文化会館及びA B S秋田放送の敷地活用について述べているが、市長はこの発言をどのように受けとめているのか

ウ 今後、県との協議の場において、ブラウブリッツ秋田のホームタウンとされている3市についても、協議に参画することとなるのか

(4) 消費税率引き上げに向けた対策について

ア 消費税率引き上げによる負担感の軽減対策として、他の自治体においては、さまざまな事業が検討されているが、本市においても早期に検討すべきではないか

2 平成31年度当初予算編成について

(1) 同予算編成に当たり、平成30年度事業の執行状況をどのようにとら

え、その内容をどのように反映したのか

(2) 最重要課題に特化した、より実効性の高い施策に予算を重点配分するため、成長戦略事業とは別に特別枠を創設する考えはないか

(3) 市有財産の売却や利活用の一層の取り組みとクラウドファンディングや民間との連携による新たな歳入の確保策も検討すべきではないか

3 中小企業の振興と雇用の創出について

(1) 秋田市中心小企業振興基本条例の施行に伴い、どのような支援を実施するのか

(2) 本市独自の融資あっせん制度や、あきた創業サポートファンド事業についての現状と課題はどうか

(3) 中小企業の事業承継について、秋田県や民間団体と協力して、きめ細かい支援を行うべきと考えるが、本市の現状と課題はどうか

(4) 女性と若年層の雇用対策について

ア 女性が安心して働ける環境が整備されるよう、市独自の支援を検討すべきではないか

イ 若年層の雇用対策について、政労使協議会設置などによる、さらなる対策を講じるべきではないか

4 少子化対策について

(1) ICTを活用した子育て情報の提供について

ア 「子育てタウン」サイト開設について、平成28年11月定例会以降、どのような調査・検討をしたのか

(2) 保育所入所待機児童の現状と今後の対応について

ア 入所不承諾者数にカウントされている児童を潜在的待機児童としてとらえ、対策を講じるべきと考えるがどうか

イ 保護者が登園可能と判断する地域内に、教育・保育施設等の再配置を進めるべきと考えるがどうか

ウ 保育士新規採用のための支援策として、住居費補助や未就学児を持つ保育士への援助、保育士資格取得費用の援助等、資金面での支

援も検討すべきと考えるがどうか、また、離職者の把握や離職防止策の検討も必要と考えるがどうか

(3) 小児に対するワクチン接種費助成について

ア 小児に対するインフルエンザワクチン及びおたふく風邪ワクチン接種費の助成について、早期に実現すべきと考えるがどうか

5 高齢者支援について

(1) 在宅医療・介護連携推進事業の具体的内容はどうか、また、その推進についてどのように取り組むのか

(2) 高齢者生活支援体制整備事業について、地域づくりの視点から、医療・福祉関係者だけではなく、多面的支援ができるNPO法人や自治会ボランティアなども含め、どのように展開していくのか

(3) 高齢化の進展に伴い、介護施設での人工透析患者の受け入れについて、国に対し、新たな介護加算の創設や受け入れ基準の条件緩和等について、働きかけが必要と考えるがどうか、また、本市独自の支援を検討する考えはあるのか

6 健康寿命延伸の取り組みについて

(1) ラジオ体操の歌詞を秋田弁にアレンジした「秋田弁体操」について、昼休みに本庁の市民の座や各市民サービスセンターなどでの実施を検討する考えはないか

7 防災・減災対策について

(1) 各市民サービスセンターにおいて、町内会や地域のリーダーを対象に、市が研修を実施し、自主的に地域防災訓練等を実施できるようにすべきではないか

(2) 緊急告知ラジオ貸与事業の対象者の拡大を検討すべきではないか、また、SNSを活用した災害情報の発信を充実させるべきと思うがどうか

(3) 秋田市立地適正化計画において、居住誘導区域の対象となっている

地域が、災害発生リスクの高い地域の場合は、安全性の確保を図るため、想定される被災レベルに応じた対策を講じるとされているが、解決すべき課題に対して関係部局との連携はどのように推進していくのか

(4) 避難所開設の際、避難者に適切な対応ができるよう、適宜、職員研修を実施すべきと考えるが研修の実施状況はどうか

8 中心市街地の活性化について

(1) 交流人口の拡大のため、秋田駅周辺エリアから千秋公園、芸術文化ゾーンまち歩きルートについて、冬期間においても安全に歩ける歩道を整備すべきと思うが状況はどうか、また、観光バス等の滞留スペースの確保についてはどうか

9 観光産業の拡大及び地域活性化について

(1) 本市の観光産業を拡大するためには、県内自治体との連携や北前船寄港地として認定された全国38市町の地域間交流などを具体的に推進していく必要があると思うが、県内外の広域連携をどのように進めていくのか

(2) 今後、クルーズ船の寄港がもたらす経済波及効果を高めていくための課題をどうとらえ、どのように取り組んでいくのか

(3) セリオンリスタの効果的な活用のため、所管の県と協議の場を持つべきではないか

(4) 老朽化が目立つ秋田市ポートタワー「セリオン」の今後の維持・管理について、どのように考えているのか、また、セリオンに訪れる方々からの駐車場増設等の要望にどのようにこたえていくのか

(5) まち歩きを楽しむツールの一つとして、外国人観光客にも人気が高まっているマンホール蓋を活用し、芸術文化ゾーン内のマンホール蓋に秋田の歴史や文化をデザインした路上芸術を展開してはどうか

(6) 人気の高いマンホールカードを求めて、各地域に出向くコレクターが増加していることから、カードの種類をふやすことや配布場所の増

設等の検討をしてはどうか

(7) 「第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会」に向けてのこれまでの取り組み状況及び水産資源等を活用した本市の魅力アップにどのようなにつなげていくのか

(8) 地方版図柄入りナンバープレートについて、本市のイメージアップにもつながることから、ミニバイク用ナンバープレートへの導入を検討すべきと考えるがどうか

10 卸売市場のあり方について

(1) 秋田市卸売市場経営改革プラン策定から3年が経過したが、目標1の「市場の活性化をめざして」及び目標2の「市場運営の効率化をめざして」への取り組みをどのように評価しているのか、また、さらなる活性化に向けた課題をどのようにとらえているのか

(2) 市場を取り巻く環境は、社会情勢の変化とあわせ、毎年急速に変化していくことから、計画期間を短くし、新たな経営改革プランを検討すべきと考えるがどうか

11 消防について

(1) 火災予防啓発活動の強化について、どのように取り組んでいくのか

(2) 女性消防吏員の計画的な増員及び採用枠拡大に向けて取り組んでいるが、その現状及び課題はどうか

(3) 今後、女性消防団員が、さらに活躍していくための支援をどのように考えているのか

1 地上配備型ミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の配備について

- (1) イージス・アショアの配備候補地の首長としての責務は何か
- (2) 防衛省から配備計画が示された後、市民への情報提供はどのように行ってきたのか
- (3) 配備計画の地元住民への説明を初め、防衛省の進め方は拙速かつ強引であり、危うさを感じるが、この進め方を市長はどのように思っているのか
- (4) これまでの市の対応は先送りに見え、市民の不安が募っているが、今の対応でよいと思っているのか
- (5) 有事の際には、イージス・アショアは攻撃目標になると思うが、市長はどのように思っているのか
- (6) 市長は、配備地として陸上自衛隊新屋演習場が適地と考えているのか

2 秋田市中小企業振興基本条例について

- (1) 同条例が本年2月1日に施行されたが、条例の目的、基本理念を踏まえた、中小企業の振興に関する具体的な施策及び「実施する責務」とは何か
- (2) 同条例が理念条例にとどまらず、「生きた条例」として意義のあるものとするため、今後、何を評価、検証するのか

3 国際リニアコライダー（ILC）の誘致について

- (1) 電子・陽電子衝突型線形加速器「国際リニアコライダー（ILC）」を本市に誘致してはどうか

4 本市の観光戦略について

- (1) 本市の観光資源及び観光の魅力は何か、また、現状の施策で観光戦

略は十分であると考えているのか

(2) 国登録有形文化財「旧大島商会店舗」の活用策として、建物を秋田駅周辺に移築することが最適であると思うがどうか

(3) 秋田駅周辺の公共スペースに、だれでも自由に芸術・文化活動ができる場所を整備し、本市観光の目玉として、情報発信してはどうか

5 子供が安心して成長できる社会づくりについて

(1) 市立の小学校、中学校及び高等学校におけるいじめ問題の発生状況はどうか、また、その対応はどのように行われているのか

(2) 本市における児童虐待の発生状況はどうか、また、その対応はどのように行われているのか

(3) 本市でも児童相談所を設置すべきではないか

(4) 幼児教育・保育が無償化となることについて、詳細な情報は市民に適切に届いているのか

(5) 学校給食費は無償化すべきと考えるがどうか

6 エイジフレンドリーシティの推進について

(1) この名称の市民の認知度はどのくらいか、また、市民の間にはこの理念は十分浸透していると考えているのか

(2) 岩見三内地区の診療所について、再開に向けた市の取り組みの現状はどうか、また、今後の取り組み方針はどうか

7 障がい者も安心して生活し、希望の持てる社会づくりについて

(1) 秋田市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例が施行されてから間もなく1年が経過するが、障がいを理由とする差別の解消はどのように行われているのか

(2) 同条例に定められている共生する社会の実現に向けた基本となる施策とは、具体的に何か

8 行政サービスの充実について

(1) 行政サービスの一元化について

ア 死亡に伴う市役所での申請について、情報を一元化して、各課での申請書の記載をなくすなど、手続をなるべく少なくすることはできないのか

(2) 家庭系ごみの処理について、資源の効率利用の観点から、ソーティングセンターを設置してはどうか

(3) 本庁舎ロビーに外国語対応ができるフロアマネジャーを配置してもよいのではないか

(4) 職員の執務環境の整備について

ア ストレスチェック後の集計結果を公表しているのか、また、ストレスチェックの結果を踏まえ、環境改善した事例はあるのか

イ ストレスチェックについて、先進都市の実施状況等の研究は行っているのか

ウ 課所室単位で、時間外勤務時間数及び年次有給休暇取得日数の実績を公表し、その実態を全職員が共有した上で、業務内容の見直し議論を全職員参加型で行うべきではないか

エ 職員のパワーハラスメント及びセクシュアルハラスメントの実態はあるのか、また、その把握方法と対応はどうか

9 御所野学院高等学校について

(1) 同校において、入学志願者の増加を目指すため、新たにバスケットボール、フェンシング等の部活動を創部して、全国規模の競技会での上位入賞の活躍が期待できる魅力ある学校にすべきではないか

10 財政健全化に向けた方策等について

(1) 地方創生推進交付金を活用する事業は、国からの支援対象の要件が細かく定められていることから、地域の実情に合った事業についても同交付金の活用対象にするよう、国に働きかけるべきと考えるがどうか

(2) 市有施設の状況について

ア 本市において、老朽化し、修繕、改修が必要な施設はどのくらいあるのか、また、それらに対して、どのように対応していくのか

(3) 市営住宅の適正管理について

ア 空き部屋の状況はどうか、また、空き部屋の期間を短くするための方策はあるのか

イ 3階以上ある住棟には、エレベーターを設置すべきと考えるがどうか

11 市民の安全・安心な社会の実現について

(1) 秋田市暴力団排除条例が施行されて7年が経過しようとしているが、この間、市として暴力団の撲滅に向けた施策を何か策定したのか

(2) 暴力団のいない安全・安心な社会の実現は市民すべての願いであるが、市としての役割は何であると考えているのか

1 イーリス・アショアの配備について

- (1) 市長は、市民や地域住民の不安や懸念をどう受けとめているのか、また、これまでの防衛省からの回答や情報提供をもとに、本市へのイーリス・アショア配備に対してどのような見解を持っているのか

2 平成31年度当初予算について

- (1) 平成31年度当初予算は、どのような考えに基づき編成したのか
- (2) 前年度に比べて約67億円増の積極予算となった中で、特に重視した点は何か

3 農業の振興と生産基盤の整備等について

- (1) 農業生産の効率化に向けた圃場整備事業について、現状と課題をどのようにとらえているのか、また、今後の整備に関する支援方針はどうか
- (2) 圃場整備事業とあわせて、ライスセンターや園芸団地といった生産基盤の整備をどのように進めていくのか
- (3) 圃場整備事業が構想されている下新城岩城谷地地内については、都市計画道路大浜上新城線の整備が予定されているが、圃場整備事業に影響はないのか、また、今後の見込みはどうか
- (4) 6次産業化の現状について
 - ア 本市において6次産業化に取り組む事業者数は、どのように推移しているのか
 - イ 6次産業化の取り組みによる具体的な成果は何か、また、課題についてはどのように認識しているのか
 - ウ 6次産業化の推進を図るため、今後どのような施策を展開していくのか

4 水道事業のあり方等について

- (1) 水道法改正の背景には、全国的な課題として指摘されている水道管路の老朽化や耐震化のおくれがあるが、本市の現状はどうか
- (2) 水道の基盤強化には、広域連携の推進によるスケールメリットの発揮が効果的とされているが、本市における広域連携に対する考えはどうか
- (3) 水道法の改正により多様な官民連携の選択肢がさらに広がったが、本市におけるコンセッション方式の導入についてはどのように考えているのか
- (4) 本市の上下水道事業はこれまでどおり公営で事業運営を進め、安全・安心な水道供給等のサービスに努めるべきと考えるがどうか

5 市職員の働く環境等について

- (1) 本庁舎において、市職員の職場環境を改善するため、どのような取り組みを行っているのか
- (2) 市職員の多様で柔軟な働き方の実現や長時間労働の見直しについて、どのように取り組むのか

6 史跡秋田城跡における環境整備と今後の取り組みについて

- (1) 秋田城跡歴史資料館と史跡公園をつなぐ連絡橋の整備について、進捗状況と今後の見通しはどうか
- (2) 史跡公園は今後どのような姿を目指すのか、また、その実現のため、どのように整備を進めていくのか
- (3) 今後、史跡の国内外に向けた情報発信の充実について、どのように取り組んでいくのか

7 コミュニティ・スクールについて

- (1) 本市が目指すコミュニティ・スクールはどのようなものか、また、平成31年度の導入に向けた取り組み状況はどうか
- (2) 学校の適正配置を進めていく中で、地域と学校は新たな関係を構築する必要に迫られるが、その際にコミュニティ・スクールが果たす役

割は何か

8 消防関係について

- (1) 減少する消防団員を確保するため、どのような取り組みを行うのか
- (2) 消防庁舎の劣化診断の結果はどうか、また、今後も消防庁舎を活用するに当たり、長寿命化をどのように実施していくのか